

東北ずん子のレンタサイクルが寄贈されました！

2月22日、市内でレンタサイクル事業を行っている白石市観光協会に、東北ずん子が描かれたスポーツタイプのレンタサイクルが寄贈されました。

寄贈した「東北ずん子スタンプラリー実行委員会」は、東日本大震災の復興応援キャラクターの「東北ずん子」を題材に、市内商店街などでスタンプラリーを開催している有志の団体。3月3日から開催しているスタンプラリーの資金をクラウドファンディングを活用して集めたと

ころ、目標額を大きく上回ったことから、その一部を活用して東北ずん子が描かれたスポーツタイプの自転車を購入。市観光協会が行っているレンタサイクル事業に活用してもらおうと、今回の寄贈が実現しました。

寄贈した同実行委員会の田中健一会長は「スタンプラリー参加者はレンタサイクルを利用される方が多いので、ぜひスポーツタイプの自転車で快適に周遊してほしいです」と話してくれました。

スタンプラリーは4月22日(日)まで。



▲寄贈した自転車を前に記念撮影する田中会長(左)と佐藤善一観光協会会長

農産物等販売施設の運営事業者が決まりました

市は、福岡長袋地内に整備を進めている「農工商連携を核とした賑わい交流拠点(しろいしサンパーク)」内の「農産物等販売施設」の運営事業者を公募しました。

選考にあたっては、識見を有する方などで構成する「運営事業者選考委員会」が応募事業者を審査。理念や方針などを厳正に審査し、「特定

非営利法人小十郎まちづくりネットワーク(佐藤賢一理事長)」が選考されました。

この結果を受けて、市がさらに検討を重ね、委託事業者は同法人に決定。今後は、円滑な事業委託が行えるよう、12月のオープンに向け、準備を進めていきます。

◎農林課 ☎22-1253



▲3月9日、山田市長から指令書を受け取る佐藤理事長(右)

白石和紙の原料・虎斑楮がふるさと愛媛県鬼北町に里帰り！

白石和紙の原料である虎斑楮が愛媛県宇和島市に隣接する鬼北町で泉貨紙という和紙をすく鬼北泉貨紙保存会会長の平野邦彦さんへ贈呈されました。

今回贈呈されたのは、原料から白石和紙を製造し、イベントなどを通して白石和紙を伝える活動を行っている市民サークル「蔵富人」が自ら栽培する虎斑楮の苗木。伝承によると白石和紙には古くから「カジノキ」とも呼ばれる虎斑楮が主に使われており、江戸時代の初めに宇和島藩より伝わったとされ、株分けによって現在まで本市で栽培されてきました。しかし、もともとの生息地だ

った宇和島周辺の地域には、現在全く生息していない状況。こうした中、平野さんからぜひ虎斑楮を譲ってほしいとの依頼を受け、今回の里帰りが実現しました。

3月15日、白石和紙工場の遠藤ま

し子さん宅で行われた贈呈式で、兵頭誠亀鬼北町長は「白石の宝物を分けてもらい感謝しています。平野さんを中心に泉貨紙を子孫の代まで伝えることで恩返ししたいです」とあいさつしていました。



1_贈呈された虎斑楮。400年の歳月を超えて古里の地へ帰ることとなる 2_虎斑楮の栽培法などについて伝える遠藤まし子(右)さん 3_贈呈式で遠藤さん(前列左)と蔵富人阿部桂治さん(後列左)から苗木を受け取る兵頭鬼北町長(前列右)と平野会長(後列右)

白石初の地域おこし協力隊員が誕生！

竹田祐博さんを白石市地域おこし協力隊員に任命

人口減少や高齢化などの進行が著しい地方において、都市地域の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動に従事してもらいながら、その地域への定住・定着を図る「地域おこし協力隊」が全国で活用され、さまざまな地域協力活動を展開しています。本市においても、農林業や移住・定住などの分野で本制度を活用し市外の人材の定住を図るとともに、地域の活性化などを促進するため、「白石市地域おこし協力隊」の募集を行いました。

この度、記念すべき第1号隊員に竹田祐博さんの任命が決まり、3月12日に山田市長が辞令を交付しました。

竹田さんは、大阪府の出身。大手家具メーカーや仙台市内の老舗筆管店に勤務した経歴を持ち、その傍ら陶芸家としても活動。4月から本市の地域おこし協力隊として、地場産

品や地場産品を活かした商品開発と販路の開拓、農産物や加工品のPR活動、SNSを活用した情報発信などの活動に取り組んでいきます。

交付式で辞令を受けた竹田さんは、「東北に移住して9年。大好きな自然豊かなこの地域で、これまで培った営業力と陶芸家の発想力を生かして白石市に貢献していきたいです」と決意を述べました。



▲辞令を手に記念撮影する竹田さん(右)と山田市長

ポリテクセンター宮城 公共職業訓練受講生募集

- 募集訓練科名(定員)
 - 【名取実習場】
 - ①CAD・NCオペレーション科(16人)
 - ②溶接施工科(15人)
- 訓練期間 6カ月
- 6月7日(木)～11月30日(金)
- 受講料 無料(テキスト代自己負担)
- 募集期間
 - 4月9日(月)～5月10日(木)
 - 居住地を管轄するハローワークを通してお申し込みください。
- ◎ポリテクセンター宮城訓練課 名取実習場 ☎022-784-2820

子どもハイキング 参加者募集

ワクワク体験してみましよう。

- 日時 4月22日(日)
- 10:00～12:00、13:00～15:00
- 参加費 200円(保険料込み)
- 定員 15人(予約不要)
- ◎宮城県蔵王野鳥の森自然観察センター 「ことりはうす」 ☎0224-34-1882

小中学生17人と1団体を顕彰 吉見教育基金顕彰事業顕彰状授与式

スポーツや芸術で顕著な功績を挙げた小中学生をたたえる「平成29年度吉見教育基金顕彰事業顕彰状授与式」が3月18日、ホワイトキューブで行われました。

この基金は、平成9年に解散した和洋裁学校「吉見学園」の理事長を務めていた吉見たけさんから、「子どもたちの教育に役立ててほしい」と寄付された現金を基に設立。次の小中学生たちに顕彰状が授与されました。

■被顕彰者(敬称略)

- 個人(スポーツ部門)
 - 大鷹沢小:佐藤皇我(新体操)
 - 小原小:熊谷宥晟(空手)
 - 大平小:阿部由暉(新体操)
 - 白石第一小:川村日満里(新体操)・安藤せれな(陸上)・安藤誠悟(陸上)・佐藤らん(陸上)

白石中:櫻田晴己(新体操)・星野太希(新体操)・廣谷開人(ソフトテニス)・中村倅青(ソフトテニス)・佐藤佑亮(ソフトテニス)

- 団体(スポーツ部門)
 - 白石中学校女子新体操部

- 個人(芸術部門)
 - 白石第一小:田邊周士(ポスター)・矢部煌河(作文)
 - 大平小:日下裕樹斗(版画)
 - 福岡中:佐藤健成(ポスター)
- 団体(芸術部門)
 - なし



▲式典終了後、山田市長、武田教育長、吉田白石市文化体育振興財団理事長と記念撮影